成田市地域公共交通計画変更案 新旧対照表

現行計画	变更案				
<u>(新設)</u> (<u>68 頁</u>)	(<u>68 頁</u>)				
<u>4. 2. 3 補助系統の路線バスの役割</u>	4.2.3 補助系統の路線バスの役割				
本市では、区域内を運行する路線	本市では、区域内を運行する路線や、京成成田駅及び JR 成田駅を起点として				
他自治体との連絡を担う路線が運行	他自治体との連絡を担う路線が運行されています。その中でも、以下に示す市				
内を運行する路線バス2路線におり	内を運行する路線バス2路線においては「地域公共交通確保維持事業(幹線補				
助)」を活用し、持続可能な運行を	助)」を活用し、持続可能な運行を行います。				
<u>系統</u> <u>路線名</u> <u>起点</u>	経由地	<u>終点</u>	実施主体	運行態様	
<u>乗合バス</u> <u>吉岡線</u> <u>京 成</u>	来 光	佐原粉	交通事	路線定期	
	<u>台</u>	名口車	<u>業者</u>	<u>運行</u>	
		<u>庫</u>			
乗合バス 多古本線 JR 成	多古	八日市	交通事	路線定期	
<u>(青系統)</u> <u>田駅</u>	台 BT	場駅	<u>業者</u>	<u>運行</u>	
乗合バス 多古本線 JR 成	三里	多古台	交通事	路線定期	
<u>(紫系統)</u> <u>田駅</u>	<u>塚</u>	<u>BT</u>	<u>業者</u>	<u>運行</u>	
	-	•		<u>, </u>	

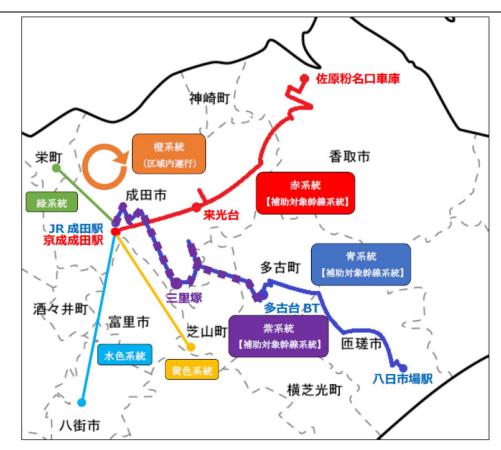


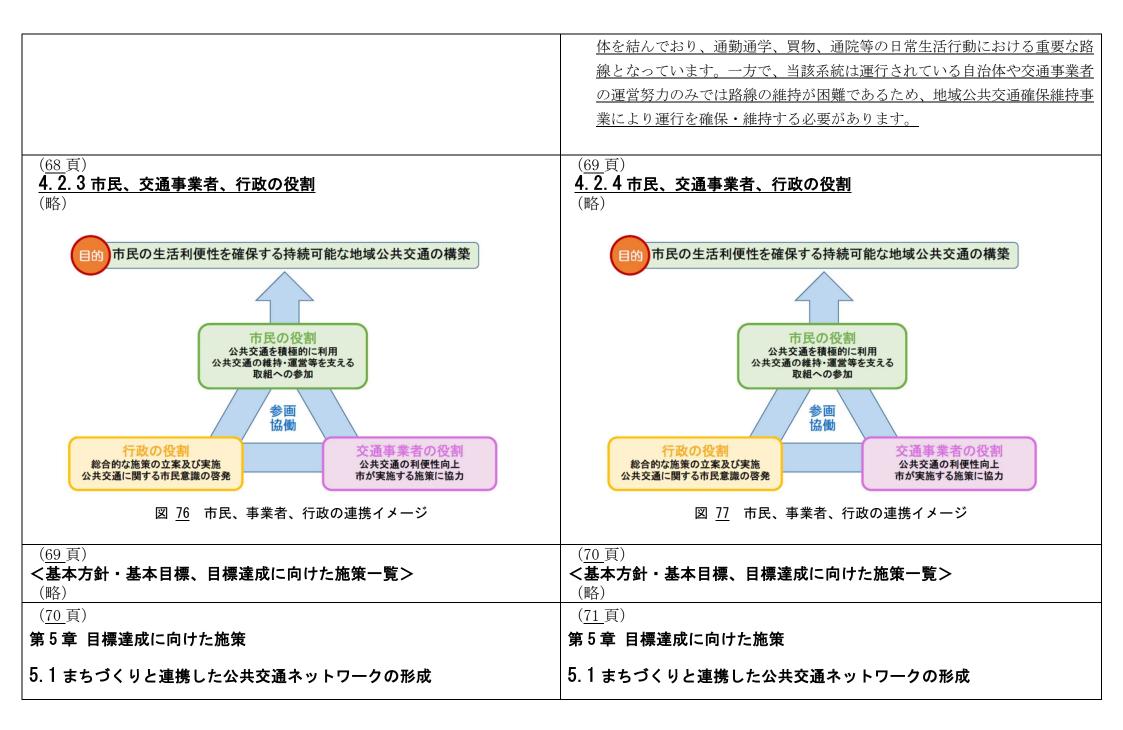
図 76 路線バス運行概略

【赤系統】

赤系統は、国道 51 号を運行しており、通勤通学、買物、通院等の日常生活 行動で市内及び隣接市の各拠点の連絡を担う重要な路線となっています。一 方で、当該系統は運行されている自治体や交通事業者の運営努力のみでは路 線の維持が困難であるため、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・ 維持する必要があります。

【青系統・紫系統】

青系統及び紫系統は、市中心部や三里塚地区の市街地、鉄道駅、近隣自治



(略)

【今後の取組内容】

(略)

・国及び県の補助制度の活用により、持続可能な公共交通ネットワークの構築を 目指します。 (略)

【今後の取組内容】

(略)

・国及び県の補助制度の活用により、持続可能な公共交通ネットワークの構築を 目指します。(吉岡線(成田佐原線)及び多古本線については、地域公共交通確 保維持事業を活用しつつ路線を維持していきます。)

(92頁)

6.2計画の進行管理

6. 2. 1 推進 - 管理体制

(略)

6. 2. 2 進行管理

(略)

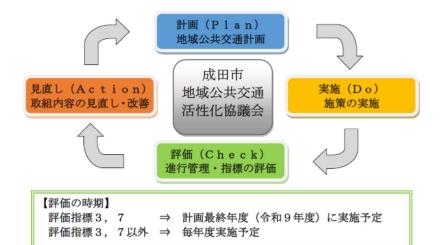


図 77 計画の進行管理イメージ

(93 頁)

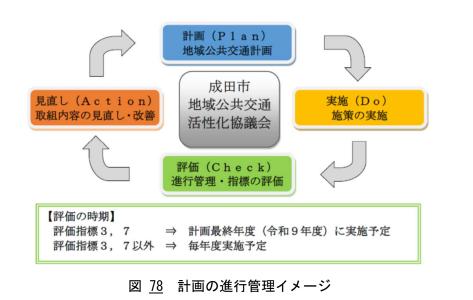
6.2計画の進行管理

6.2.1 計画の進行管理

(略)

6. 2. 2 進行管理

(略)



(93頁)

(新設)

6.2.3 多様な関係者との連携、協働 (略) (94頁)

6.2.3 評価指標のデータ取得方法

各評価指標のデータ取得方法は以下のとおりとします。

指標番	評価指標	データ取得方法
<u>号</u>		
-1	路線バス・コミュニティバス利用	交通事業者及び本市保有の乗降
<u>1</u>	者数	情報により計測
2	コミュニティバスの収支率の改善	本市の会計決算書より整理
3 公共交通に	八共六字に洪ロレマンフトの割入	本市で行うアンケート調査によ
	公共交通に満足している人の割合	<u>り把握</u>
<u>4</u> バス待ち	バフ徒と 四座の北羊	交通事業者及び本市の取組実績
	バス待ち環境の改善	の調査により把握
_	総車両台数に占める	交通事業者及び本市保有の車両
<u>5</u>	バリアフリー対象車両の割合	情報により計測
<u>6</u>	利用促進に係る事業・イベントの	交通事業者及び本市の取組実績
	<u>数</u>	の調査により把握
7	ICT、デジタル化への対応数	交通事業者及び本市の取組実績
		の調査により把握

6.2.4 多様な関係者との連携、協働

(略)